

提案日 令和3年 7月 19日

R D U F 小委員会 提案書

1. 運営区分	3. ステークホルダーを集めて、課題解決に向けて対策等を話し合う
2. テーマ	人文学・社会科学のデータ共有における課題検討
3. 目的	人文学・社会科学のデータ共有における課題を解決するために国内のデータアーカイブ等の事例を共有し、提言を行うことを目的とする。
4. 成果物	各データアーカイブの事例集およびデータ共有の際の指針や教材の作成。
5. 成果のインパクト	成果物を公開することによって、新たにデータ共有を開始する機関や研究者、支援人材の参考となる。
6. 小委員会の活動計画	オンライン会議やメールでのやり取りを中心とする。 成果物がまとまった段階で、イベント等でのアウトリーチ活動を行う。 3ヶ月：事例収集 3ヶ月：事例の取りまとめ、論点ピックアップ 3ヶ月：成果物（文書、スライド、動画）作成 3ヶ月：成果物公開、アウトリーチ
7. 初期委員（所属）	石井 加代子（慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター） 岡田 一祐（北海学園大学人文学部） 谷口 沙恵（東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター） 堤 智昭（筑波大学人文社会系） 平澤加奈子（東京大学史料編纂所） 渡邊要一郎（東京大学史料編纂所）
8. その他	

A4 1～2枚程度にまとめてください。